



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6155 URL <https://www.takamaz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 宗一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,972	0.9	△297	—	△268	—	△766	—
2024年3月期第3四半期	9,885	△15.7	△412	—	△455	—	△280	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △710百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 35百万円(△94.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△71.20	—
2024年3月期第3四半期	△25.88	—

(注) 2025年3月期第3四半期及び2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	20,745	15,813	76.1
2024年3月期	22,313	16,618	74.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 15,787百万円 2024年3月期 16,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年3月期	—	5.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,439	△5.3	△392	—	△450	—	△963	△89.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	11,020,000株	2024年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	249,539株	2024年3月期	268,680株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	10,762,595株	2024年3月期3Q	10,841,234株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気回復に一部足踏みがみられるものの緩やかな回復基調にありましたが、物価上昇、アメリカ大統領選挙の結果によるアメリカの経済政策や外交政策の変化、中国経済の減速などの不確実性も存在し、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においては、自動車業界における開発方針の逡巡、各国の金融動向や世界情勢での様々なリスクなどから、ユーザの設備投資に対する慎重姿勢がみられ、回復局面に向けての転換期が長引いた影響も受け、2024年暦年の業界受注総額は、前年同期比0.1%減の1兆4,851億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は90億80百万円(前年同期比18.6%減)、受注残高は59億62百万円(同22.2%減)、売上高は99億72百万円(同0.9%増)、営業損失は2億97百万円(前年同期は4億12百万円の営業損失)、経常損失は2億68百万円(前年同期は4億55百万円の経常損失)となりました。また、中間連結会計期間に繰延税金資産を取崩したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億66百万円(前年同期は2億80百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が81億54百万円(前年同期比19.8%減)、受注残高が55億78百万円(同20.4%減)、売上高が87億63百万円(同0.2%増)、営業損失が3億38百万円(前年同期は4億35百万円の営業損失)となりました。

受注高の地域別内訳は、アジア向けが増加したものの、国内向け、北米向け及びヨーロッパ向けが減少した結果、内需が45億45百万円(前年同期比29.6%減)、外需が36億8百万円(同2.8%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、国内向けが減少したものの、北米向け及びアジア向けが増加した結果、内需が53億31百万円(同10.7%減)、外需が34億32百万円(同23.6%増)、外需比率が39.2%(前年同期は31.7%)となりました。

第3四半期連結累計期間における主な取り組みとして、JIMTOF2024(東京)、IMTS2024(アメリカ)、AMB2024(ドイツ)、METALEX2024(タイ)など、国内外の主要な展示会に出展したほか、ディーラ主催展示会への参加、営業キャラバンの実施、アメリカ、タイ、ベトナムでのプライベートショー開催などにより、当社の強みである自動化技術・カスタマイズ提案をもってターゲットユーザにニーズを満たす提案営業を推進することで受注獲得をはかってきました。

2024年11月に開催されたJIMTOF2024では、車や産業機械に使用されるシャフト部品などをターゲットとしたXTLシリーズの「XTL-8MY」「XTL-8MYS」を発表しました。「XTL-8MY」は回転工具や追加の加工軸を標準搭載した工程集約機であり、「XTL-8MYS」は更に背面主軸を搭載したことで、一台で完品加工まで行うことができます。展示会場ではシャフト部品加工のデモンストレーションも行い、その性能や特徴をPRしました。前回開催(2022年)を大きく上回るユーザやディーラが当社ブースに来ていただき、多くの引合・受注につながりました。引合案件を受注につなげるべく、積極的なアプローチを行っています。

製品面では、様々な外部組織・団体の各賞に当社製品が選ばれました。「XWG-3」が第54回機械工業デザイン賞IDEA「日本デザイン学会賞」、「XWT-8」が2024年度精密工学会ものづくり賞「優秀賞」、「XTS-6」がいしかわエコデザイン2024「銀賞」を受賞しました。

生産面では、顧客ニーズの早期把握による精緻な生産計画の策定、全社的な部品調達・社内供給体制の見直し、加工設備の効果的活用、技術部員や製造部員の育成などをはかり、今後の自動車関連の需要回復に備えた生産能力向上、一層効率的な生産の実現に努めています。

② IT関連製造装置事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が9億26百万円(前年同期比6.2%減)、受注残高が3億84百万円(同40.9%減)、売上高が10億74百万円(同17.6%増)、営業利益が34百万円(同8.8%減)となりました。

受注高は半導体業界の生産調整が影響し、減少しました。売上高は既存案件が堅調に推移する中、新規案件開拓の成果もあって増加しましたが、営業利益は製品構成比の変化や新規案件による工数拡大などが影響し、減少しました。

③ 自動車部品加工事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1億34百万円(前年同期比39.3%減)、営業利益が6百万円(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。

海外自動車メーカー向けの販売不振によって生産数が減少し、売上高が減少しました。一方で、赤字であった海外連結子会社TP MACHINE PARTS CO., LTD. を解散した影響、採算性改善に向けた取引内容見直しなどに努めた成果などにより、営業黒字に転換しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は207億45百万円で前連結会計年度末に比べ15億68百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動資産は127億円となり、前連結会計年度末に比べて12億36百万円減少しました。その主な要因としては、現金及び預金が5億32百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が15億53百万円、電子記録債権が2億7百万円減少したことによるものです。

固定資産は80億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億31百万円減少しました。その主な要因としては、投資その他の資産のその他(繰延税金資産等)が1億52百万円、建物及び構築物(純額)が1億47百万円減少したことによるものです。

次に当第3四半期連結会計期間末の負債は49億31百万円で前連結会計年度末に比べて7億63百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は33億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億56百万円減少しました。その主な要因としては、短期借入金が2億円増加したものの、電子記録債務が14億8百万円、支払手形及び買掛金が3億35百万円、賞与引当金が1億13百万円減少したことによるものです。

固定負債は15億82百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億92百万円増加しました。その主な要因としては、長期借入金が6億45百万円、固定負債のその他(繰延税金負債等)が3億58百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は158億13百万円で前連結会計年度末に比べて8億4百万円の減少となりました。その主な要因としては、為替換算調整勘定が1億円増加したものの、利益剰余金が8億73百万円減少したことによるものです。なお、自己資本比率は76.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,335	3,867
受取手形及び売掛金	3,072	1,519
電子記録債権	3,255	3,047
商品及び製品	1,435	1,076
仕掛品	1,637	2,146
原材料及び貯蔵品	1,014	836
その他	190	209
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	13,937	12,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,817	3,670
土地	2,411	2,411
その他（純額）	696	679
有形固定資産合計	6,925	6,761
無形固定資産	139	124
投資その他の資産		
その他	1,345	1,193
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,311	1,159
固定資産合計	8,376	8,045
資産合計	22,313	20,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	960	624
電子記録債務	2,590	1,181
短期借入金	690	890
未払法人税等	17	22
賞与引当金	191	77
製品保証引当金	43	33
その他	611	518
流動負債合計	5,105	3,349
固定負債		
長期借入金	185	830
退職給付に係る負債	130	119
その他	273	632
固定負債合計	589	1,582
負債合計	5,695	4,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,777	1,771
利益剰余金	11,971	11,097
自己株式	△192	△178
株主資本合計	15,392	14,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	213
為替換算調整勘定	729	829
退職給付に係る調整累計額	261	218
その他の包括利益累計額合計	1,205	1,261
新株予約権	14	20
非支配株主持分	5	5
純資産合計	16,618	15,813
負債純資産合計	22,313	20,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)
売上高	9,885	9,972
売上原価	7,602	7,676
売上総利益	2,282	2,296
販売費及び一般管理費	2,695	2,593
営業損失 (△)	△412	△297
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	8	9
為替差益	32	31
その他	33	34
営業外収益合計	81	81
営業外費用		
支払利息	2	8
持分法による投資損失	121	43
その他	0	0
営業外費用合計	124	52
経常損失 (△)	△455	△268
特別利益		
出資金清算益	6	—
固定資産売却益	22	5
投資有価証券売却益	13	—
特別利益合計	42	5
特別損失		
投資有価証券清算損	1	—
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純損失 (△)	△416	△264
法人税、住民税及び事業税	44	17
法人税等調整額	△180	484
法人税等合計	△135	501
四半期純損失 (△)	△280	△766
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△280	△766

四半期連結包括利益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)
四半期純損失 (△)	△280	△766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△1
為替換算調整勘定	206	85
退職給付に係る調整額	△9	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	56	15
その他の包括利益合計	316	55
四半期包括利益	35	△710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35	△710
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第 3 四半期連結累計期間(自 2023年 4 月 1 日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	5,972	914	207	7,094	—	7,094
北米	972	—	—	972	—	972
ヨーロッパ	460	—	—	460	—	460
アジア	1,337	—	13	1,350	—	1,350
その他	7	—	—	7	—	7
顧客との契約から 生じる収益	8,750	914	221	9,885	—	9,885
外部顧客への売上高	8,750	914	221	9,885	—	9,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	8,752	914	221	9,888	△2	9,885
セグメント利益又は損失(△)	△435	38	△11	△408	△3	△412

(注) 1 売上高の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	5,331	1,074	134	6,540	—	6,540
北米	1,295	—	—	1,295	—	1,295
ヨーロッパ	493	—	—	493	—	493
アジア	1,629	—	—	1,629	—	1,629
その他	12	—	—	12	—	12
顧客との契約から 生じる収益	8,763	1,074	134	9,972	—	9,972
外部顧客への売上高	8,763	1,074	134	9,972	—	9,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	8,767	1,074	134	9,976	△3	9,972
セグメント利益又は損失(△)	△338	34	6	△297	—	△297

(注)1 売上高の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	406百万円	355百万円